

戦評用紙

大会名	平成25年度国民体育大会東北ブロック兼第40回東北総合体育大会
-----	---------------------------------

日時	2013年8月25日12:45～	区分	成年男子
----	------------------	----	------

チームA				チームB	
秋田				宮城	
84	19	1Q	13	75	
	23	2Q	27		
	26	3Q	18		
	16	4Q	17		
		延長			

【戦評】

ディフェンスは両チームともハーフコートのマンツーマンでスタート。秋田は④を起点としたオフェンスで点数を重ねる。一方宮城はパスミスやシュートミスが続きななかペースをつかめない。開始から4分が過ぎ、宮城のパスミスから秋田が速攻で得点し13-0とリードした所で、宮城がたまらずタイムアウト。ペースを握れない宮城はポイントガードを⑤の選手に替えリズムを変える。タイムアウト後は宮城も落ち着きを取り戻し、徐々に得点を重ねる。第1ピリオドは秋田19-13宮城と、秋田6点リードで終える。

第2ピリオドは、両チームともアウトサイドからのシュートでスタート。その後秋田は④を中心にオフェンスを展開する。それに対して宮城は⑤、⑦が連続でアウトサイドからのシュートを成功させ、3分が経過した所で、秋田27-28宮城と逆転に成功する。秋田はここで前半1回目のタイムアウト。タイムアウト後は両チームともアウトサイドからのシュートが決まるなど、お互いに一歩も引かず、秋田40-42宮城の秋田2点リードで前半を終える。

後半、秋田はオールコート2-2-1から3-2のゾーンディフェンスで仕掛ける。オフェンスでも④のインサイドを中心に攻撃し、宮城のファールを誘う。開始1分30秒のところで、宮城はチームファールが4つめとなり、点差も6点まで広がる。しかし、宮城はここで⑤のアウトサイドシュートが連続で決まり、4分が経過した所で秋田50-50宮城と同点に追いつく。ここで秋田は後半1回目のタイムアウトをとる。タイムアウト後はディフェンスの厳しさを取り戻し、秋田が徐々にペースを握る。宮城も対抗するが、5分が過ぎた所で、ここまでペースを作っていた⑤が4回目のファールを犯し、ベンチへ下がる。秋田57-50宮城と7点差がついた所で、宮城が後半1回目のタイムアウト。秋田はディフェンスをハーフコートマンツーマンに戻す。秋田は⑮のアウトサイドシュートが連続で決まり、秋田68-58宮城の秋田10点リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド秋田は⑮のアウトサイドシュート、④⑤のインサイドとバランス良く攻め、得点を重ねる。一方宮城も、⑫インサイドなどで対抗するが、点差はそのままつまらない。残り3分宮城はタイムアウト後オールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。スチールからの連続得点で差を詰め、残り30秒、秋田79-75宮城追い上げる。宮城はファールゲームを仕掛けるが、秋田は落ち着いてフリースローを決め、最後まで集中力を持続させた秋田が秋田84-75宮城の9点差で逃げ切った。

戦評者

神位 裕介